

## 第一 事業概要について

### I 事業活動の状況に関する事項

#### 基本的事項

本県の内水面を取り巻く現状は、平成9年まで進められた護岸整備や、直線化で、魚族の生息場所として好ましくない河川も多く、生物多様性に対応できうる川つくりが切望されている。近年、河川に係る工事において環境に配慮した工法や施工が行われるようになり、一部河川では砂礫の持ち出しや大きな石の川床への再投入など魚族の生息環境の改善に向けた対応がなされている。また、カワウやバス等の食害、ダムによる長期濁水など水産動植物への影響も懸念されている。また、他方で県民のレクリエーションの場として多くの人々に提供できるよう安心・安全な川つくりも求められている。

このような中、水産資源の維持・増殖管理、多自然川つくりや河川の環境保全・再生の推進、漁協の組織力向上等のため、各種事業を実施した。

#### 1 主要事業概要（水産資源の維持、増殖管理等の推進）

##### 1) 委託事業

- ① 県の委託を受け、県内5大河川や中小14河川の漁業権対象魚種を主体に資源を増殖させるためアユ、ヤマメ、シジミ、ウナギの種苗放流を実施した。
- ② (一財)内水面振興センターの委託を受け、大淀川と一つ瀬川にアユの種苗放流を実施した。また、小中学生や地域住民を対象にした体験放流学習や河川清掃活動等に合せて17漁協でウナギ種苗の放流を実施し、内水面の多面的な機能を活用するための普及、啓発を図った。

##### 2) 補助事業（全国内水面漁協連合会、宮崎県）

###### ① 漁業経営指導等対策事業；県

各種実態調査や常例検査等をとおして漁協の運営、経営管理指導を強化し、組織としての機能の充実に努めた。

###### ② 河川流域振興活動実践事業；全内漁連、県

内水面の利用者に対し資源の保護、増殖や環境保全、適正利用等の普及、啓発（延べ40漁協）を行った。また、流域の生物環境実態調査（三名川）や産卵場の造成（5水系7漁協）、井堰の魚道改修等（3漁協）を行い、河川が持つ様々な機能の向上を図った。

###### ③ 外来魚被害防除対策事業；全内漁連、県

放流事業や在来の生態系への影響が懸念されているブラックバス等外来魚駆除河川において刺網、籠等による方法で実施した。また、一般県民への啓発も含め

て2湖沼で釣り大会による駆除等も実施した。

④ カワウ被害緊急対策事業；全内漁連

カワウによる被害軽減のため、6水系12漁協が飛来状況調査や、猟友会との連携により銃器による駆除を実施した。

3) 近年、急減するシラスウナギ資源に対し資源管理対策の一環として、10月から翌年3月までの採捕規制を継続し、また、アユ資源についても放流用稚魚は人工産稚アユとした。

2 「多自然川づくりの」や「河川の環境保全、再生」の推進については、ダム管理や維持流量の確保等に関する国、県等関係機関、団体等と随時意見交換をする等流域圏の関係団体との協議、連携を深め、流水占有料を活用した河川の環境保全対策について県議会にお願いした。また、遊漁者をはじめ一般県民の理解を求めながら、漁協活動や内水面の役割、多面的な機能等について普及、啓発に努めた。

## 平成 28 年度主要事業実績概要

() : 当初予算

事 業 名	事 業 費 (円)	事 業 内 容
<b>1. 委託事業</b>		
1) 稚魚河川放流委託事業	51,290,000 (51,290,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>九電補殖費(48,290,000円)・県費(3,000,000円)の委託を受け、県内5大河川及び14中小河川にアユ6,882kg、ヤマメ254.5千尾、シジミ1,220kg、ウナギ2,069kgを放流した。</li> </ul>
2) 内水面振興センター委託事業	5,500,000 (5,500,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>(一財)宮崎県内水面振興センターの委託を受け、アユ880kg(大淀川、一つ瀬川水系6漁協他)、ウナギ195.5kg(17漁協他)を放流するとともに一般県民・小中学生を対象(約3,230名)に適正な内水面利用について啓発、指導を実施した。</li> </ul>
小 計	56,790,000	(56,790,000)
<b>2. 国、県補助事業</b>		
1) 漁業経営指導等対策事業	4,918,000 (4,918,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>常例検査、一斉調査等をとおして傘下の内水面漁協の運営指導や組織整備、経営管理指導等を強化することにより、健全な組合運営の確保を図り、漁協本来の資源や漁場の管理機能強化や河川を憩いの場として求める社会的な要求に対応した。</li> </ul>
2) 河川流域振興活動実践事業	3,482,513 (3,400,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民や内水面利用者に対し、内水面における水産資源の維持培養・環境保全・適正な利用に対する実践活動(体験学習、釣り教室他；延べ40漁協他、約5,989名)や知識の啓発普及を行うとともに、漁業者等が実施するアユ産卵場の造成(5水系7漁協；21ヶ所、8,104m<sup>2</sup>)、魚道改修(粗石斜路式；1漁協)等、内水面漁業の健全な発展と流域の振興を図った。</li> </ul>
3) 外来魚被害防除対策事業	600,980 (610,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>在来の生態系や放流等増殖事業に影響が懸念されるブラックバス等の駆除対策を大淀川の岩瀬ダム(刺網・籠)、御池(釣り大会)、祝子川(刺網)や金堂ヶ池(釣り大会)では地域団体と協働で実施し、生態系保全と資源の繁殖保護を図るとともに、一般県民への普及啓発を図った。</li> </ul>
4) カワウ広域・緊急対策事業	2,797,440 (2,400,000)	<ul style="list-style-type: none"> <li>カワウ被害の軽減を図るため、6水系12漁協でカワウの飛来状況の把握や、銃器によるカワウ駆除(延べ231回、448羽)対策を行った。</li> </ul>
	<b>11,798,933</b>	(11,328,000)
合 計	<b>68,588,933</b>	(68,118,000)

**平成28年度生態系の保全に係る実践活動事業**

	水 系	漁 协	実施時期	実施対象	人数	稚魚 (単位 kg)	ハンフレット クリヤファイル
体験学習	大淀川	国富	5/10.13. 18.20	八代小18名、森永小22名、木脇小63名、本庄小52名、父兄他55名	210	カキ 11.5	175
	耳川	西郷	5/12	田代小3~4年27名、教員3名	30	カキ 11.5	35
	小丸川	上小丸川	5/18	美郷南学園43名、教員他6名	49	カキ 11.5	50
	小丸川	小丸川	7/8. 7/17, 8/1	高鍋東小1年123名、教員7名、漁協17名、高鍋子供会80名、父兄他50名、木城小56名、教員3名漁協6名	342	カキ 11.5	330
	福島川	串間市淡水	7/12	秋山小8名、教員6名、漁協5名	19	カキ 11.5	40
	耳川	美幸内水面	7/12	美々津小2~3年30名、教員4名、漁協6名、市役所1名	41	カキ 11.5	40
	加江田川	木花内水面	7/25	鏡洲小20名、教員9名、漁協3名	32	カキ 11.5	20
	大淀川	都城淡水	7/12~10/22 (14箇所)	にし幼稚園、沖水小、西岳小、安久小、志和池小、明和小、もちお幼稚園他子供1,255名、父兄他555名	1810	カキ 11.5	200
	大淀川	小林高原野尻	8/27	永久津小11名、教員父兄 9名	20	カキ 11.5	20
	大淀川	綾	9/9	綾小4年65名、教員2名、漁協役場10名、国交省3名	80	カキ 11.5	85
	大淀川	高崎大淀川	9/9	木之内川内小98名、父兄10名、地区役員5名、漁協3名	116	カキ 11.5	100
	五ヶ瀬川	五ヶ瀬川	9/9	南方小108名、教員6名、漁協4名	118	カキ 11.5	115
	大淀川	宮崎内水面	9/11	市内児童47名、父兄他74名	121	カキ 11.5	50
	一ヶ瀬川	新佐	10/18	広瀬小4年94名	98	カキ 11.5	100
	川内川	川内川上流	10/25	飯野小53名、教員3名、漁協9名、国交省1名、市役所2名	68	カキ 11.5	60
	塩見川	富島河川	10/25	日知屋小4年40名、教員2名、漁協他5名	47	カキ 11.5	45
	大淀川	須木村	10/27	須木児童20名、教員3名、漁協4名、市役所職員3名	30	カキ 11.5	25
計				3,231 名	195.5	1,490	
釣り教室・釣り大会	広渡川	日南広渡川	5/15	鵜戸小40名、幼稚園15名、保護者教職員漁協役員28名	83		50
	大淀川	三股町淡水	5/21~22	地区児童146名、父兄他120名	266		50
	大淀川	国富	6/19	町内小学生21名、父兄39名	60		100
	名貫川	名貫川淡水	7/21	地区小中学生30名、父兄他16名	46		35
	大淀川	高岡川	7/24	地区児童45名、父兄他40名	85		63
	境川	境川	7/30	地区児童27名、父兄21名、漁協8名	56		23
	耳川	椎葉村	8/29	尾向小31名、父兄5名、教員7名、漁協4名	47		45
	五ヶ瀬川	西臼杵	8/6	高千穂小38名、地元児童9名、父兄他39名	82		50
	小丸川	上小丸川	8/15	児童50名、父兄他50名	100		60
	一ヶ瀬川	西米良	8/18	地区小学生36名、父兄14名	50		70
	福島川	串間市淡水	8/16	子供連合会25名、父兄7名、市役所4名、漁協8名	44		30
	清武川	清武川	8/20・27	木原、丸目地区児童33名、父兄38名	71		30
	一ヶ瀬川	一ヶ瀬川	9/25	地区児童138名、父兄他78	216		130
	大淀川	綾	10/16	県内児童父兄他約500名	500		300
計				1,357 名		936	
河川清掃	小丸川	小丸川	5/22	高鍋西・東小、木城小、山本小80名、国交省、自治公民館、自然愛好会他70名	150		130
	大淀川	小林高原野尻	7/23	東方小22名、父兄・教員21名、漁協2名	45		22
	五十鈴川	五十鈴川	7/24	五十鈴川小2名、地区8名、漁協15名	25		12
	祝子川	祝子川	7/24	黒岩小中学生68名、漁協・地域住民136名	204		50
	大淀川	境川	9/17	田野小、七野小40名、漁協、役場、河川浄化推進委員100名	140		35
	大淀川	都城淡水	7/12~9/25 (8箇所)	にし幼稚園、安久小、志和池小、公民館他子供450名、大人435名	885		
	計			1,299 名		119	
その他イベント							
1	一ヶ瀬川汚濁調査協議会		4/16	地元ボーカル、スポーツクラブ、協議委員	80		80
2	椎葉・門川小合同教室		5/18	椎葉小ふれあい教室小学生22名	22		22
3	大淀川学習館		5/8	児童		アユ12kgカキ 20kg	
合計				5,989 名		2,647	

## 二 事業計画概要について

### 1 基本方針

本県の内水面を取り巻く現状は、平成9年まで進められた護岸整備や、直線化で、魚族の生息場所として好ましくない河川も多く、生物多様性に対応できる川つくりが切望されている。近年、宮崎県では河川に係る工事において環境に配慮した工法や施工が行われるようになった。一部河川では砂礫の持ち出しや大きな石の川床への再投入など魚族の生息環境の改善に向けた対応がなされている。また、カワウやバス等の食害、ダムによる長期濁水など水産動植物への影響も懸念されている。これらの問題に国・県・関係機関と協議しながら連合会として取り組む。他方で県民のレクリエーションの場として多くの人々に提供できるよう安心・安全な川つくりを目標とする。新たに内水面漁業振興法に基づく協議会の設置等を要請し、具体的な各種振興対策について、次の3項目を推進する。

#### 1) 水産資源の維持・増殖管理、多面的機能の発揮と秩序の維持

- イ 効果的な資源の増殖を図るため、生物多様性に配慮した各種魚貝類の優良種苗を適期に放流する。また、親ウナギについては半年間の採捕規制を継続するとともに生息環境保全に取り組み、アユ資源の管理方法について関係団体等とも協議しながら資源の再生、復活の道を探る。
- ロ アユ等の産卵場造成や井堰等の魚道機能向上のため簡易な改修や河床露出への対応、汲み上げ方式により遡上を促進する。また、河川・湖沼の生態系に重大な影響を及ぼす恐れがある外来魚やカワウの被害防止対策、魚病の感染防止や監視対策を推進する。
- ハ 多くの人々に、体験学習、釣り教室や河川清掃などのイベントを通じて資源の保護や河川の有効利用について普及啓発する。また内水面の多面的な役割や機能向上についての認識の共有化を図る。

#### 2) 多自然川づくりと河川の環境保全、再生の推進（流域団体との連携強化）

- イ 河川の自然環境の保全を図るため、関係機関と連携し、生物資源維持流量の適正化や自然に優しい川つくり、生物の多様性に富んだ川つくりを推進する。
- ロ 林道・作業道、山林伐採等による河川に係わる工事による環境負荷の軽減を目指し、関係機関と協議していく。
- ハ ダム濁水長期化の軽減や河川維持流量の適正化について、ダム管理者と協議していく。また、森林の荒廃による河川環境への影響は大きく、国、県をはじめとする森林管理者・地域団体と密接に連携を取りながら森林の保全、再生に向け協議していく。

#### 3) 漁協の組織力向上、経営基盤強化の推進

漁業権の内容に基づいて内水面漁協のあり方を協議し円滑な事業運営を推進するとともに、漁協の組織力向上、新たな財源の確保に引き続き取り組み、豊かな川つくりを推進する。

事 業 名	事業費 (円)	事 業 内 容
<b>1. 委託事業</b>		
1) 河川放流委託事業	51,290,000 (51,290,000)	・ 九電補殖費 (48,290,000 円)・県費 (3,000,000 円) の委託を受け、県内 5 大河川及び 14 中小河川にアユ、ヤマメ、ウナギ、シジミを放流し資源の増殖を図る。
2) 内水面振興センター 委託事業	5,500,000 (5,500,000)	・ (一財) 内水面振興センターの委託を受け、アユ、ウナギを放流するとともに、一般県民・小中学生を対象に内水面利用を促進するための啓発・指導を行う。
<b>小 計</b>	<b>56,790,000</b>	(56,790,000)
<b>2. 国、県補助事業</b>		
1) 漁業経営指導 対策事業	4,992,100 (4,918,000)	・ 常例検査、一斉調査等をとおして傘下の内水面漁協の運営指導や組織整備、経営管理指導等を強化していく。漁協の健全な運営の確保を図り、漁協活動本来の資源・漁場管理機能の強化、需給調整や県民が求めている憩いの場としての河川環境の保全等多面的な機能の向上を図る。
2) 生態系保全 実践活動事業  (県 ; 内水面資源 保護活動事業)	3,630,000 (3,400,000)	・ 地域住民、小中学生や内水面利用者に対し、河川における水産資源の維持培養・環境保全・適正な利用に対する実践活動や知識の啓発普及を行うとともに、漁業者等が実施する産卵場の造成 (6 水系 8 漁協)、魚道機能向上・改修 (3 水系 3 漁協) 等を実施し、内水面漁業の健全な発展と地域の振興を図る。
3) 外来魚被害防除 対策事業	580,000 (610,000)	・ 在来の生態系や放流事業等に影響が懸念されるブラックバス等外来魚の被害防除対策として、大淀川岩瀬ダム、祝子川での刺網等による駆除や、県民との協働による釣り大会 (御池、金堂ヶ池) 等を開催し駆除することで一般への普及啓発を図る。
4) 広域連携カワウ被害 管理対策事業	2,850,000 (2,844,000)	・ カワウによるアユ、オイカワ等の食害の軽減を図るため、北川、耳川、一つ瀬川、大淀川、川内川の 5 水系でカワウの飛来状況調査 (6 漁協他) や県内全河川を対象に銃器等によるカワウ駆除対策を行う。
5) 鰐生息環境改善 支援事業	2,700,000 (0)	・ ニホンウナギの資源減少については生息環境の悪化等が上げられることから、広渡川水系において石倉カゴ増殖礁を設置して生息環境の保全に取り組む。
<b>小 計</b>	<b>14,752 ,100</b>	(11,772 ,000)
<b>合 計</b>	<b>71,542,100</b>	(68,562 ,000)